スクリプトの実行

スクリプトを実行する

THUMGY Dataのスクリプトは、以下の3通りの方法で実行できます。

- スクリプトの編集画面から実行する
- ナビゲータエリアから実行する
- Windowsのコマンドプロンプトから実行する

◇スクリプトを実行する手順

スクリプトの編集画面から実行する

①ナビゲータエリアの「スクリプト」フォルダから、実行するスクリプトをダブルクリックで開きます。

②表示されたスクリプトのスクリプトメニューの「先頭から」または「カーソルから」を選択します。

- 先頭から：スクリプトを先頭行から実行するように指定します。
- カーソルから：カーソルを置いた行からスクリプトを実行するように指定します。

③ブレイクポイントを設定する場合は、対象の行をクリックしてカーソルを置き、スクリプトメニューの《ブレイクポイント》をクリックします。

④スクリプトの開始行を「カーソルから」にした場合は、スクリプトの実行を開始する行をクリックし、カーソルを置きます。

⑤スクリプトメニューの《実行》または《ステップで実行》をクリックします。

- 《ステップで実行》を選択した場合は、実行された行の行番号の前に青い「▶」のアイコンが表示されます。続けて《ステップで実行》をクリックすると、次の行を実行できます。

⇒スクリプトが実行されます。

ナビゲータエリアから実行する

①ナビゲータエリアの「スクリプト」フォルダから、実行するスクリプトを右クリックし、「実行」をクリックします。

⇒スクリプトが実行されます。

※ナビゲータエリアから実行した場合は、スクリプトの先頭から最終行まで実行されます。
「カーソルから」の指定やブレイクポイントの設定はできません。

Windowsのコマンドプロントから実行する

【コマンドの構文】
tgd -project “プロジェクトファイルの絶対パス¥プロジェクトファイル名” -script “スクリプト名1” “スクリプト名2” ・・・

【記述例】tgd -project “C:¥トレーニング01¥トレーニング01.tgd” -script “S01_インポート.” “S02_データ処理”

①Windowsのコマンドプロンプトを開きます。

②コマンドを入力し、Enterキーを押します。（ディレクトリは、どこでも構いません。）

⇒スクリプトが実行されます。

※「-script」には、スクリプトを1つ以上記述します。複数のスクリプトを実行する場合は、実行順に記述します。

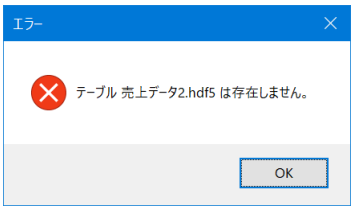
© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

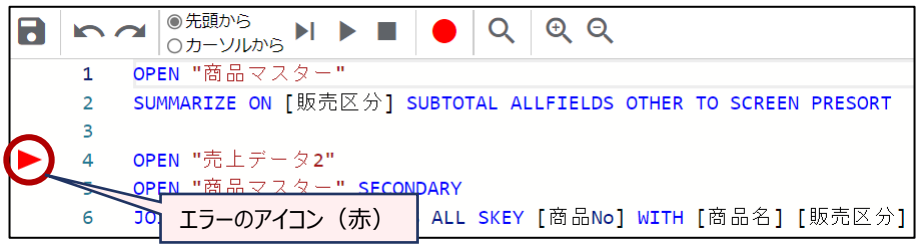
◇スクリプト実行のログ

現在は、ログが記録されません。今後実装する予定です。
（スクリプトにより実行された操作のログは記録されます。）

◇スクリプト実行時のエラー

スクリプトの実行時にエラーが検出された場合は、エラーメッセージが表示され、スクリプトの処理が中断します。
中断された行に赤い「▶」のアイコンが表示されます。
メッセージの内容を確認し、スクリプトを修正します。





© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.